



Mini Disclosure
2024年9月中間期

第151期 ミニディスクロージャー誌
営業の中間ご報告

2024年4月1日から2024年9月30日まで



静岡中央銀行

お客様・地域社会と共に発展し ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して

皆さまには、日頃より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2024年9月中間期ミニディスクロージャー誌「第151期営業の中間ご報告」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いです。

当行は、2024年4月より2年間を計画期間とする第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を十分に果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月



取締役社長

小森 博史

取締役会長

清野 真司

当行の概要

- 名 称 株式会社静岡中央銀行
- 本店所在地 沼津市大手町4丁目76番地
- 設 立 1926年(大正15年)11月12日
- 資 本 金 20億円
- 店 舗 数 43店舗(うち出張所5)
- 従 業 員 数 428人

(2024年9月30日現在)

目 次

- ごあいさつ・当行の概要 …… 1
- 第15次中期経営計画 …… 2
- 業績ハイライト …… 3
- 地域の皆さまと共に …… 5
- 連結財務諸表 …… 11
- 単体財務諸表 …… 12
- 株式/役員/連結子会社の状況 …… 13
- 店舗のご案内 …… 14

- 当行は、2024年4月より第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。



第15次中期経営計画

深化Ⅱ 持続的成長に向けた挑戦

期間/2024年4月～2026年3月(2年間)

経営理念

堅実で健全な経営

目指す銀行像

お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行

基本方針

お客様中心主義の深化
“ビジネスモデル＝訪問頻度管理”を深化させ、
お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

行動指針

Passion(熱意)& Team support(チーム対応)

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践

1. 信頼される行動の実践
2. 3つのCCCの実践
3. 利便性の高い商品・サービスの提供と
課題解決支援の実践

II 営業改革の実践

1. 訪問頻度管理のステップアップ
2. 金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
3. 預貸併進と真のメイン先の増加

III 業務改革の実践

1. 生産性向上と効率化に向けた業務改革
2. 経営資源の最適化とサステナビリティへの取組み
3. 店舗戦略

IV 活力ある人事戦略

1. 人事制度改革、採用体制の強化と多様化
2. 挑戦する人材の育成、多様な人材の登用と活躍機会の拡大
3. 行員ロイヤルティ働きがい向上による活力アップ

V 経営基盤の強化

1. 基礎的利益的持続的拡大
2. 安定的な有価証券収益の確保
3. 持続的成長の基礎となる経営管理の強化
(創立100周年に向けた対応)

用語解説

「CCC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。
「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

「ロイヤルティの高いお客様」とは？

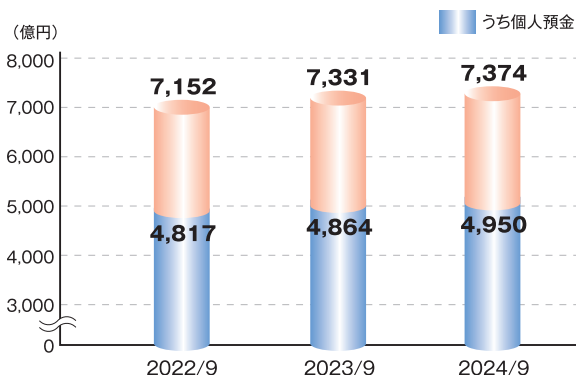
将来にわたって当行に利益をもたらす行動意図があるお客様のことです。

- ①他に選択肢があるにもかかわらず当行を選んでいただけるお客様
- ②当行との取引を永く続けていただけるお客様
- ③友人・知人・親戚に当行を紹介したり取引を奨めていただけるお客様
- ④不平・不満があったら正しく伝えてくださるお客様

■預金残高

～年間増加率0.5%～

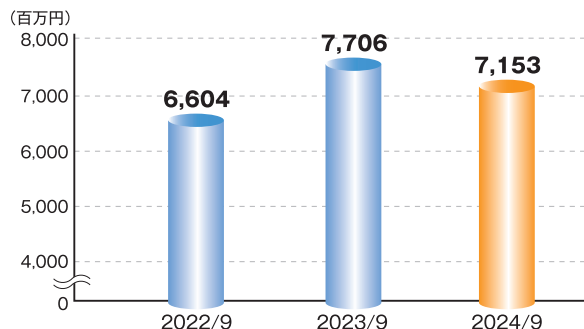
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前年同期末比42億円0.5%増加の7,374億円となりました。



■経常収益

～役務取引等収益 2年連続増加～

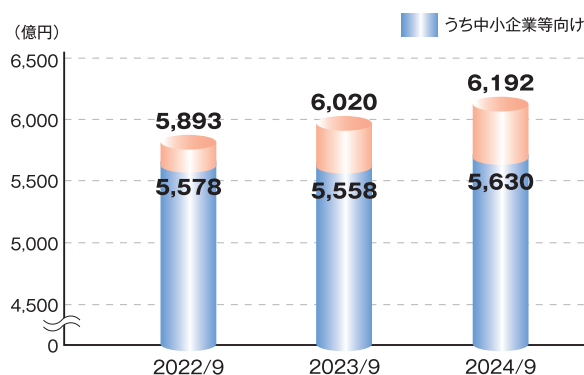
貸出金利息、役務取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したものの、株式等売却益の減少等により、経常収益は前年同期比5億52百万円7.1%減収の71億53百万円となりました。



■貸出金残高

～年間増加率2.8%～

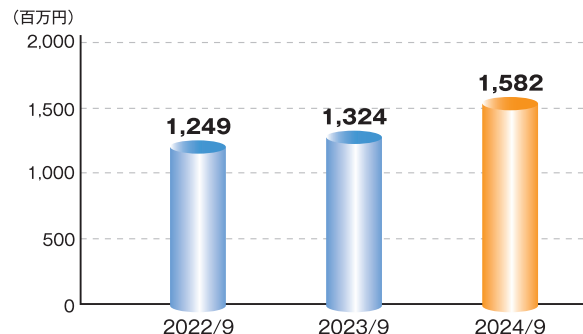
定期的な顧客訪問の徹底によってお客様の経営課題解決の支援等に積極的に取り組むなど、金融仲介機能の発揮に努めたことにより、貸出金残高は前年同期末比172億円2.8%増加の6,192億円となりました。



■中間純利益

～4年連続の増益～

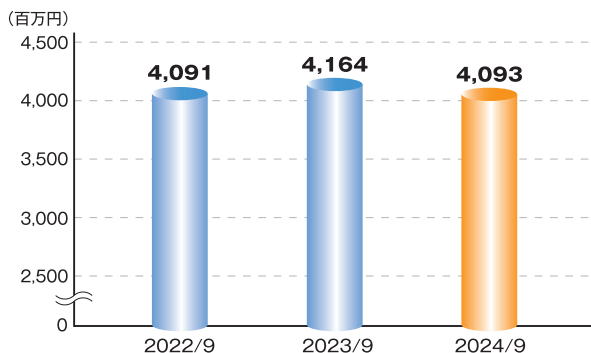
本業が堅調に推移したほか、与信費用の減少等もあり、中間純利益は前年同期比2億57百万円19.4%増益の15億82百万円となりました。



■ 預貸金利益（貸出金利息－預金利息）

～貸出金利息 6年連続増加～

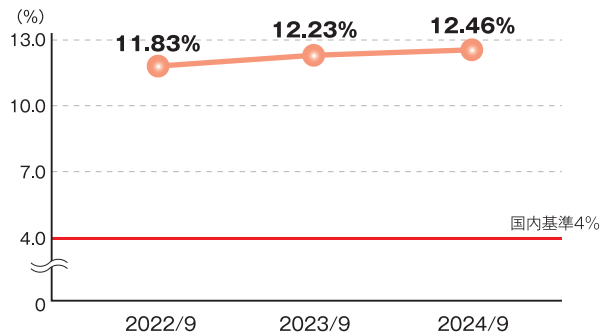
貸出金残高の着実な増加によって貸出金利息が6年連続で増加したものの、預金の増加や預金金利の引上げ等に伴う預金利息の増加により、預貸金利益は前年同期比71百万円1.7%減益の40億93百万円となりました。



■ 自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は12.46%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

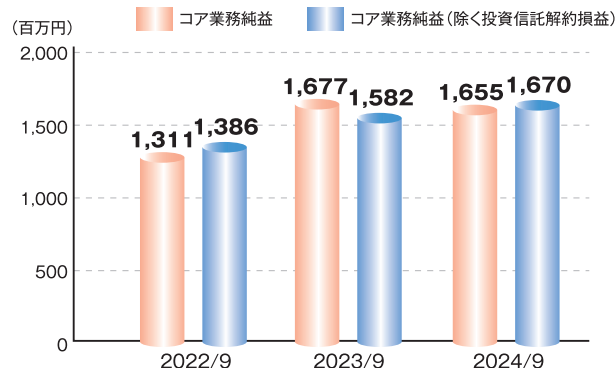


■ コア業務純益

～本業利益は着実に増加～

本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は、役務取引等利益や有価証券利息配当金が増加したこと等により、16億70百万円と堅調に推移しております。

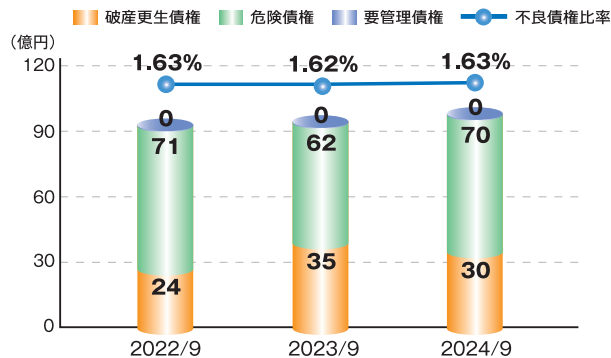
コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益



■ 不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は101億78百万円となり、総与信残高に占める割合は1.63%となりました。なお、同債権の87.8%を担保等でカバーしております。



地域密着型金融の推進

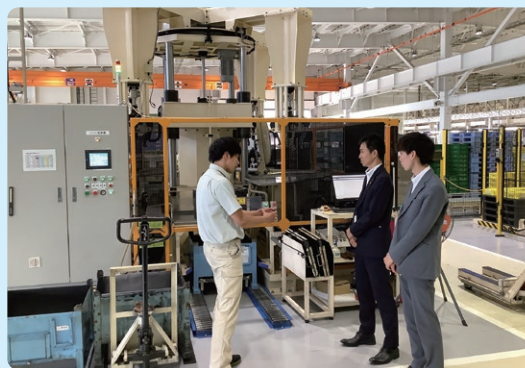
●事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



撮影協力：株式会社イズラシ

外部専門機関との連携強化 ～専門的ニーズに積極的に対応～

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2024年度（2024年4月～10月）は新たに2社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2024年10月31日現在 75社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の問題解決のサポートに積極的に取組んでまいります。

提携分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 相続・事業継承・M&A | ⑥ リース関連 |
| ② 補助金申請 | ⑦ システム導入関連 |
| ③ 人材紹介 | ⑧ 節税関連 |
| ④ 建設・不動産関係 | ⑨ 企業支援・コンサル関連 |
| ⑤ 販路開拓 | ⑩ 経費削減関連 他 |



撮影協力：株式会社イズラシ

地域密着型金融の推進

●お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

「年金定期バースデー1000」へリニューアル

当行では、地域のシニア世代を応援するため、当行で公的年金をお受け取りの皆さま向けに店頭表示金利に0.3%上乗せした「年金定期バースデー500」の預入限度額を「500万円」から「1,000万円」に変更し、商品名を「年金定期バースデー1000」へ変更のうえ、2024年10月より販売を開始いたしました。

あわせて「バースデープラス定期預金」、
「パートナー定期預金」もそれぞれ上乗せ金利の
引き上げを行いました。



資産形成総合サポートサービス 「Money Canvas」との連携開始

2024年10月より、株式会社三菱UFJ銀行が提供する資産形成総合サポートサービス「Money Canvas」との連携を開始いたしました。「Money Canvas」では、お金に関する知識や資産形成に関する心構えなどの情報を分かりやすく提供するとともに、株式・投資信託等の幅広い金融商品・サービスの中から自分に合ったものを選び、来店不要でお取引できます。

本連携により、当行ダイレクトチャネルの利便性向上や提供商品・サービスがより一層充実化されます。



「PayPay」への残高チャージサービス開始

当行は、お客さまの利便性向上を目的に、PayPay株式会社が提供するキャッシュレスサービス「PayPay」と口座連携サービスを2024年6月より開始いたしました。PayPayと当行預金口座を連携し、チャージすることで、PayPay加盟店での支払いや個人間の送金等が簡単に行えます。

PayPayのご利用方法の詳細につきましては、PayPay株式会社のウェブサイトをご確認ください。 <https://paypay.ne.jp/>



●地域に根差した地域貢献活動の取り組み

「しずちゅうミニ銀行員体験講座」開催

当行では、職業体験を通じ、地域の仕事を知ってもらい、将来地元で働く選択肢の一つとなるように小学生向けの金融教育「銀行の仕事ってなに？しずちゅうミニ銀行員体験講座」を、静岡県東部地域局が主催する「夏休み自由研究体験講座」として開催いたしました。

「お金」の基本的な知識や銀行の仕事内容を紹介し、体験講座では「ミニ銀行員」として、実際の銀行員の仕事を体験していただきました。



「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（主催「静岡県野球連盟」及び「静岡県野球連盟少年部」）に特別協賛しており、2024年6月には、「第12回」大会を開催（約240チームが参加）いたしました。

今後も、学童の健全な成長を応援し、地域社会の発展に貢献してまいります。



第12回大会優勝チーム 中泉クラブスポーツ少年団

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域活性化を目的とした「富士山フォトコンテスト」を開催しており、最優秀賞作品を当行カレンダーに採用しております。

【最優秀賞】

作品名「雲の切れ間」山本 武正 様

※受賞作品は当行ホームページにてご覧いただけます。当行のホームページのトップページにある富士山ギャラリーのバナー、もしくはQRコードからご覧ください。

「富士山ギャラリー」



サステナビリティへの取り組み

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGsへの取り組み

静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

【地域経済の持続的発展への貢献】

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【多様な人材の活躍】

すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取り組んでまいります。

【地域の環境保全】

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。

対応するSDGs目標

【地域経済の持続的発展への貢献】



【多様な人材の活躍】



【地域の環境保全】



●気候変動への対応

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境問題への取組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実にも努めてまいります。

（CO₂ 排出量削減）

定 義	Scope1およびScope2※1に該当するCO ₂ 排出量
目 標	（中間目標）2030年度までに2013年度比▲46% （最終目標）2050年度までにカーボンニュートラル実現

※1

Scope1：（直接排出）車両によるガソリン使用、ガスの使用

Scope2：（間接排出）電気の使用

（サステナブル関連投融資）

定 義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融資
目 標	2023年度から2030年度までに500億円

●ダイバーシティへの取組み

「女性活躍推進企業」に認定

2024年7月11日付で静岡労働局長より、女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし（2段階目）」を取得いたしました。

これは、当行が女性の働きやすい環境の整備やキャリアアップ支援への取組が優良な企業として認められたものです。

当行では、今後も多様な人材の成長・活躍を促進し、お客様・地域社会とともに発展し、ベストパートナーとして信頼される銀行を目指してまいります。



第151期中間連結貸借対照表
(2024年9月30日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	95,405
有価証券	140,468
貸出金	619,296
その他資産	3,878
有形固定資産	8,440
無形固定資産	612
退職給付に係る資産	102
繰延税金資産	0
支払承諾見返	1,370
貸倒引当金	△4,234
資産の部合計	865,341
負債の部	
預金	735,490
借入金	51,100
その他負債	6,991
賞与引当金	372
退職給付に係る負債	39
役員退職慰労引当金	694
睡眠預金払戻損失引当金	1
偶発損失引当金	337
繰延税金負債	1,819
再評価に係る繰延税金負債	1,329
支払承諾	1,370
負債の部合計	799,545
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	51,254
株主資本合計	53,255
その他有価証券評価差額金	9,374
土地再評価差額金	3,055
退職給付に係る調整累計額	110
その他の包括利益累計額合計	12,540
純資産の部合計	65,795
負債及び純資産の部合計	865,341

第151期中間連結損益計算書
(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	7,207
資金運用収益	5,469
（うち貸出金利息）	4,371
（うち有価証券利息配当金）	1,037
役務取引等収益	883
その他業務収益	—
その他経常収益	854
経常費用	4,924
資金調達費用	279
（うち預金利息）	277
役務取引等費用	782
その他業務費用	—
営業経費	3,576
その他経常費用	286
経常利益	2,282
特別利益	—
特別損失	0
固定資産処分損	0
税金等調整前中間純利益	2,282
法人税、住民税及び事業税	481
法人税等調整額	153
法人税等合計	635
中間純利益	1,646
親会社株主に帰属する中間純利益	1,646

第151期中間連結株主資本等変動計算書
(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

科 目	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	2,000	0	49,667	51,668	
当中間期変動額					
剰余金の配当			△60	△60	
親会社株主に帰属する中間純利益			1,646	1,646	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	1,586	1,586	
当中間期末残高	2,000	0	51,254	53,255	

科 目	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	11,529	3,055	119	14,704	66,373
当中間期変動額					
剰余金の配当					△60
親会社株主に帰属する中間純利益					1,646
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,154		△9	△2,164	△2,164
当中間期変動額合計	△2,154	—	△9	△2,164	△577
当中間期末残高	9,374	3,055	110	12,540	65,795

第151期中間貸借対照表
(2024年9月30日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	95,405
有価証券	139,270
貸出金	619,296
その他資産	3,810
有形固定資産	8,282
無形固定資産	611
支払承諾見返	1,370
貸倒引当金	△4,118
資産の部合計	863,930
負債の部	
預金	737,472
借入金	51,100
その他負債	5,435
賞与引当金	372
退職給付引当金	94
役員退職慰労引当金	694
睡眠預金払戻損失引当金	1
偶発損失引当金	337
繰延税金負債	1,706
再評価に係る繰延税金負債	1,329
支払承諾	1,370
負債の部合計	799,915
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	49,816
株主資本合計	51,817
その他有価証券評価差額金	9,142
土地再評価差額金	3,055
評価・換算差額等合計	12,197
純資産の部合計	64,015
負債及び純資産の部合計	863,930

第151期中間損益計算書
(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	7,153
資金運用収益	5,473
（うち貸出金利息）	4,371
（うち有価証券利息配当金）	1,040
役務取引等収益	817
その他業務収益	—
その他経常収益	862
経常費用	4,969
資金調達費用	280
（うち預金利息）	277
役務取引等費用	852
その他業務費用	—
営業経費	3,554
その他経常費用	282
経常利益	2,184
特別利益	—
特別損失	0
固定資産処分損	0
税引前中間純利益	2,183
法人税、住民税及び事業税	452
法人税等調整額	149
法人税等合計	601
中間純利益	1,582

第151期中間株主資本等変動計算書
(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	株 主 資 本									
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金					株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金				利益剰余金合計	
					役員退職積立金	有価証券償却準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	39,608	2,935	48,294	50,295
当中間期変動額										
剰余金の配当								△60	△60	△60
別途積立金の積立							2,200	△2,200	—	—
中間純利益								1,582	1,582	1,582
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）										
当中間期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,200	△677	1,522	1,522
当中間期末残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	41,808	2,257	49,816	51,817

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	11,078	3,055	14,133	64,429
当中間期変動額				
剰余金の配当				△60
別途積立金の積立				—
中間純利益				1,582
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,935		△1,935	△1,935
当中間期変動額合計	△1,935	—	△1,935	△413
当中間期末残高	9,142	3,055	12,197	64,015

株式の状況 (2024年9月30日現在)

- 発行する株式の総数 96,000千株
- 発行済株式の総数 24,000千株
- 株主数 1,456名

大株主の状況 (2024年9月30日現在)

株主の氏名または名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
損害保険ジャパン株式会社	2,539	10.58
静岡中央銀行行員持株会	1,609	6.70
東京海上日動火災保険株式会社	1,385	5.77
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	5.00
株式会社大林組	1,200	5.00
野村ホールディングス株式会社	1,200	5.00
三信株式会社	1,200	5.00
オークラヤ住宅株式会社	1,200	5.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,148	4.78
東洋電機製造株式会社	1,110	4.62

株式のご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催予定
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

役員の状況 (2024年9月30日現在)

代表取締役会長	清 野 眞 司
代表取締役社長	小 森 博 史
代表取締役専務	林 道 弘
常 務 取 締 役	芦 川 哲 也
常 務 取 締 役	野 中 久 記
常 務 取 締 役	青 島 厚 志
常 務 取 締 役	守 分 宏 一
常 務 取 締 役	浅 賀 友 秋
取 締 役	渡 邊 芳 和
取 締 役	金 子 良 雄
取 締 役	名 波 忠 広
取 締 役	増 田 和 彦
取 締 役	内 海 順 太
取 締 役	平 山 浩 二
取 締 役	森 陽 介
取 締 役	澤 田 武 嗣
取締役(社外取締役)	藤 田 燈
常 勤 監 査 役	土 居 敏 彦
常 勤 監 査 役	那 須 田 研 二
監査役(社外監査役)	林 宣 男
監査役(社外監査役)	熱 田 稔 敬

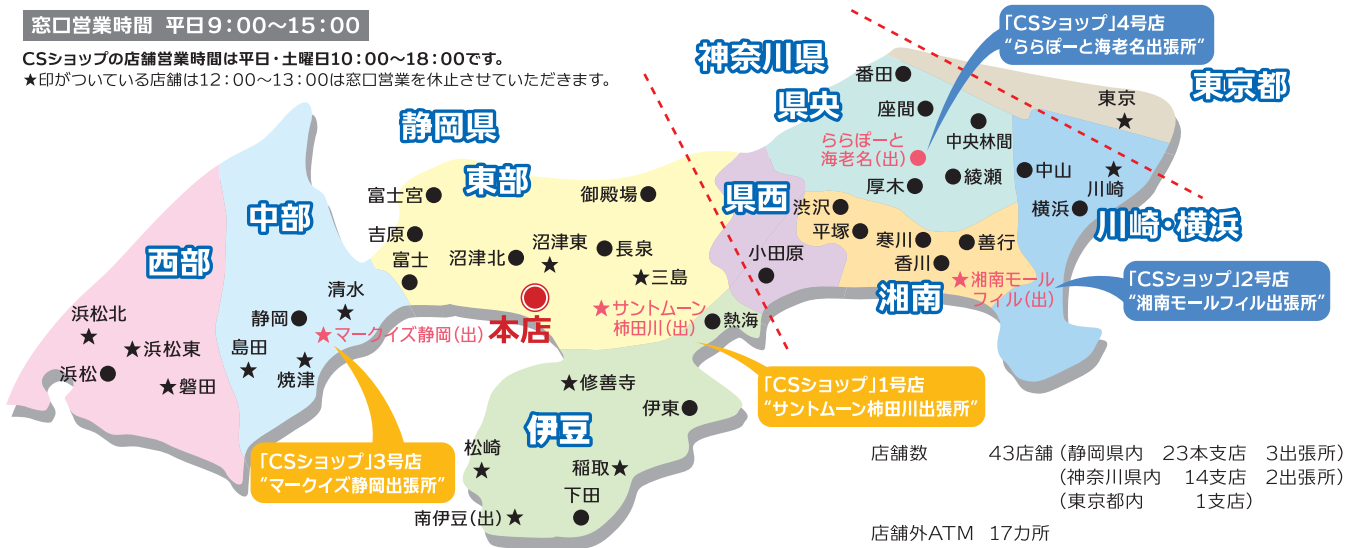
連結子会社の状況 (2024年9月30日現在)

名 称	所在地	主な業務内容	資本金
静岡中央信用保証株式会社	沼津市上土町1番地の1	信用保証・調査業務	330百万円
岳洋産業株式会社	沼津市大手町4丁目76番地	静岡中央銀行への不動産賃貸及びATM精査業務	10百万円

店舗のご案内 (2024年11月30日現在)

窓口営業時間 平日9:00～15:00

CSショップの店舗営業時間は平日・土曜日10:00～18:00です。
★印がついている店舗は12:00～13:00は窓口営業を休止させていただきます。



店舗数 43店舗 (静岡県内 23本支店 3出張所)
(神奈川県内 14支店 2出張所)
(東京都内 1支店)

店舗外ATM 17カ所

静岡県

本店営業部 (055) 962-6111 沼津市大手町4丁目76番地	御殿場支店 (0550) 82-1345 御殿場市新橋1917番地の1	焼津支店★ (054) 628-4125 焼津市本町2丁目1番1号	熱海支店 (0557) 81-6191 熱海市銀座町10番23号
サントムーン柿田川出張所★ (055) 973-5888 駿東郡清水町玉川61番地の2	吉原支店 (0545) 52-5125 富士市吉原2丁目4番4号	島田支店★ (0547) 37-3161 島田市本通3丁目6番1号	伊東支店 (0557) 37-6636 伊東市中央町10番8号
沼津北支店 (055) 921-1766 沼津市寿町3番3号	富士支店 (0545) 61-1904 富士市本町13番17号	浜松支店 (053) 454-6201 浜松市中央区伝馬町313番地の21	稲取支店★ (0557) 95-1200 賀茂郡東伊豆町稲取708番地の1
沼津東支店★ (055) 923-7221 沼津市三枚橋杉崎町426番の2	富士宮支店 (0544) 26-8121 富士宮市ひびりが丘1124番地	浜松北支店★ (053) 472-2241 浜松市中央区幸1丁目3番7号	下田支店 (0558) 22-3331 下田市2丁目10番17号
三島支店★ (055) 975-2300 三島市本町7番26号	静岡支店 (054) 253-2125 静岡市葵区常盤町2丁目1番地の5	浜松東支店★ (053) 421-3155 浜松市中央区緑ヶ瀬町1243番地	南伊豆出張所★ (0558) 62-0025 賀茂郡南伊豆町下賀茂174番地の1
長泉支店 (055) 986-3030 駿東郡長泉町中土狩347-1	マークイズ静岡出張所★ (054) 262-6611 静岡市葵区楠木1026	磐田支店★ (0538) 34-2211 磐田市中泉622番地3	松崎支店★ (0558) 42-0280 賀茂郡松崎町松崎375番地の4
修善寺支店★ (0558) 72-2145 伊豆市柏久保553番地の1	清水支店★ (054) 352-0191 静岡市清水区万世町2丁目6番16号		

神奈川県

川崎支店★ (044) 244-7321 川崎市川崎区東田町8番地 (パレール三井ビルディング10F)	香川支店 (0467) 57-7111 茅ヶ崎市香川4丁目44番5号	寒川支店 (0467) 74-1510 高座郡寒川町倉見482番の3	綾瀬支店 (0467) 76-4141 綾瀬市深谷上6丁目16番22号
横浜支店 (045) 751-6100 横浜市中区磯子区丸山2丁目5番1号	湘南モールフィル出張所★ (0466) 34-7015 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号	座間支店 (046) 254-3151 座間市入谷西2丁目56番8号	番田支店 (042) 778-4177 相模原市中央区上溝367番地の6
中山支店 (045) 934-1161 横浜市長青町172番地4	小田原支店 (0465) 22-9201 小田原市栄町1丁目16番35号	平塚支店 (0463) 54-1100 平塚市横内2291番地	厚木支店 (046) 233-8500 海老名市中新田2丁目14番1号
善行支店 (0466) 82-2311 藤沢市善行1丁目23番地の4	渋沢支店 (0463) 88-3555 秦野市曲松2丁目2番15号	中央林間支店 (046) 274-1115 大和市中央林間3丁目10番10号	ららぽーと海老名出張所 (046) 235-2251 海老名市扇町13番1号

東京都

東京支店★ (03) 5860-1615
港区愛宕1丁目3番4号 (愛宕東洋ビル7F)

住宅ローンセンター

岳麓住宅ローンセンター (055) 962-3300 沼津市大手町4丁目76番地	静岡住宅ローンセンター (054) 262-3232 静岡市葵区楠木1026 (マークイズ静岡出張所内)	遠州住宅ローンセンター (053) 454-6220 浜松市中央区伝馬町313番地の21 (浜松支店内)
湘南住宅ローンセンター (0466) 34-7078 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号 (湘南モールフィル出張所内)	湘南住宅ローンセンター(海老名) (046) 206-6015 海老名市扇町13番1号 (ららぽーと海老名出張所内)	

※サントムーン柿田川出張所・マークイズ静岡出張所・湘南モールフィル出張所の店舗営業時間は10:00～12:00、13:00～18:00です。

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

表紙の
写真

2025年カレンダー 富士山フォトコンテスト
最優秀賞「雲の切れ間」山本 武正氏 撮影

どこから眺めても美しい「世界文化遺産の霊峰富士山」。荒々しい
宝永火口を画面正面に配した構図は実にダイナミックです。
うっすらと雪をかぶった山頂、裾野の紅葉が火口までを赤く染め、
美しさを増しています。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK, LTD.

■発行 2024年12月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL. 055-962-6113

■ホームページアドレス

<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>